

# まちの声



今回の「まちの声」は、元町職員OBで1区みどり町内にお住いの「奈良幸男さん」にお話しを伺いました。



**Q** 議会だよりを読んでいますか。

**A** 年を取ると議会への傍聴は、中々いけませんので、「議会だより」や「町広報」は、なるべく読むように努めています。

**Q** 妹背牛町は住みやすいですか。日頃感じていることは何ですか。

**A** 幼少期から妹背牛町に住んでい

ますが、住みやすい街だと思っています。ただ例年雪が多く、悩みの種となつていきます。高齢になると雪はねは大変なので、業者にお願ひしていますが、大雪の年など雪の処理で問題になったりします。

**Q** これからの妹背牛町への要望や何かお気づきの点はありますか。

**A** 新聞等で2050年の将来人口が推計され、報道されていましたが、本町も1000人を割り込むこととなつており、何とか生き残りをはかるような施策として、定住化対策や少子化対策など積極的に取り進めて頂きたいと思っています。また、商店や飲食店等が減ってきており、十字街は歯抜け状態になってきているので、商店街の活性化にも力を入れてほしいと思います。

**Q** 議会だよりについての要望はありますか。

**A** 議会だよりは、高齢者にもわかりやすく読みやすい紙面にしていただければと思います。

**Q** その他何かありますか。

**A** 今後とも町と議会が一体となつて妹背牛町が更に良くなるような施策を進めて頂きたいと思っています。また、議会の議員定数は現在9人で、人口の割には少し多いような感もしていますので、是非定数の検討をして頂ければと思います。



## 編集後記

町議改選の9月23日から約1年になります。妹背牛町を愛し、限りなく町の発展を願う町民の一人として微力ですが務めさせていただいています。

夏真っ盛りの季節になりました。7月に入り全道議員研修をはじめ空知、北空知と研修機会がありました。全道研修では「町民の意見をよく聴き、意見を話し合い、合意しない場合は多数決が基本です。」との講演を聞き議員として再認識しました。

また、江別市の生涯活躍のまち『コルクえべつ』の施設に伺い、誰もが仕事や生きがいを持ち、生涯にわたって安心して暮らすことができる地域共生型社会を視察させていただきました。妹背牛町でも福祉については進んでいますが大変参考になりました。

議会だよりにつきましては、お気づきの点やご意見・ご要望などがありましたらお知らせください。またたくさんの方が議会を傍聴いただけることを望んでいます。

### 広報特別委員会

- 委員長 中山 義博
- 副委員長 成瀬 勝幸
- 委員 鈴木 正彦